

70歳以上75歳未満の高齢者の自己負担限度額の見直し(平成20年4月)

| | 【18年10月～】 | | 【平成20年4月～】 | |
|---------|-----------|-------------------------------|------------|-------------------------------|
| | 《外来》 | | 《外来》 | |
| 現役並み所得者 | 《44,400円》 | 80,100円+〈医療費〉×1% (44,400円) | 《44,400円》 | 80,100円+〈医療費〉×1% (44,400円) |
| 一般 | 《12,000円》 | 44,400円 | 《24,600円》 | 62,100円 (44,400円) |
| 低所得者Ⅱ | 《8,000円》 | 24,600円 | 《8,000円》 | 24,600円 [据え置き] |
| 低所得者Ⅰ | 《8,000円》 | 15,000円 | 《8,000円》 | 15,000円 [据え置き] |

※ 〈医療費〉は全体の医療費から、定額の限度額に対応する医療費を控除した額

※ ()内は多数該当(4ヶ月以上入院するような場合)の限度額

【20年度における見直しの考え方】

- ① 高齢者医療制度の創設にあわせ、70歳以上75歳未満の患者負担が1割から2割に変更となることに伴い、一般の者の自己負担限度額を70歳未満の者(80,100円)と75歳以上の者(44,400円)の中間水準に設定する。
- ② 低所得者の自己負担限度額については、据え置く。

(注) 現役並み所得者については、3割負担のままであることから、変更なし。